

「第六次薬物乱用防止五カ年戦略(概要)」について

令和5年8月8日、関係閣僚で構成される薬物乱用対策推進会議で「第六次薬物乱用防止五カ年戦略」が策定されました。平成30年8月に決定した「第五次薬物乱用防止五カ年戦略」から強化・新設した「第六次薬物乱用防止五カ年戦略」の主な重要項目は以下のとおりです。

【戦略策定上の重要項目】

①大麻乱用期への総合的な対策の強化

- ・デジタルツール等を用いた効果的な啓発活動の強化
- ・大麻乱用者に特化した再乱用防止の取組の強化
- ・大麻事犯に対する取締りの徹底による大麻乱用期の早期沈静化

②再乱用防止対策における関係機関と連携した“息の長い支援”強化

- ・薬物依存症患者としての回復支援強化
- ・薬物依存症の治療等を含めた再乱用防止と社会復帰支援策の充実

③サイバー空間を利用した薬物密売の取締りの強化

- ・秘匿性の高いメッセージアプリや暗号資産を用い巧妙化する犯罪手口への対応強化
- ・「闇バイト」を利用した薬物犯罪への取締り強化

④国際的な人の往来増加への対応強化

- ・水際における薬物取締体制の拡充
- ・訪日外国人、海外渡航者への注意喚起の推進

⑤薬物乱用政策についての国際社会との連携・協力強化と積極的な発信

- ・仕出国、中継国となっている国・地域の捜査機関との国際的な連携強化
- ・予防政策を含む、世界的に誇る我が国の薬物政策の理解獲得の強化

第六次薬物乱用防止五カ年戦略（概要）

令和5年8月 薬物乱用対策推進会議決定

戦略策定に向けた5つの視点

- ・大麻乱用期への総合的な対策の強化
- ・再乱用防止対策における関係機関の連携した“息の長い支援”強化
- ・サイバー空間を利用した薬物密売の取締り強化
- ・国際的な人の往来増加への対応強化
- ・薬物乱用政策についての国際社会との連携・協力強化と積極的な発信

5つの目標

目標1 青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止

- ＜大麻の有害性・危険性・国内外の規制状況について周知＞
- 薬物乱用防止教室の充実強化
 - 研修等を通じた指導方法・指導者の資質向上

- ＜国際的な人の往来増加への対応としての啓発強化＞
- 海外渡航者に向けた、ウェブサイトを利用した周知の実施
 - 諸外国における最新の薬物規制状況等の啓発資料への反映

- ＜デジタルツール等を効果的に活用した広報・啓発手法の強化＞
- 青少年の目に触れやすい広報媒体の活用
 - 科学的知見に基づく情報の広報・啓発資料への反映による内容の充実

目標2 薬物乱用者に対する適切な治療と効果的な社会復帰支援による再乱用防止

- ＜関係機関がより一層連携した「息の長い支援」の実施＞
- 刑事司法関係機関等による社会復帰支援の推進
 - 大麻事犯の特性に対応した指導・支援の推進

- ＜治療等を提供する医療機関等の充実・強化＞
- 認知行動療法等の治療や回復プログラムの更なる充実
 - 治療が可能な医療従事者育成のための研修の充実

- ＜大麻事犯者の再犯防止等に向けた効果的な対応の検討＞
- 薬物依存症等に関する正しい知識・意識の理解の促進
 - 支援方針の研究及び支援による効果検証の推進

目標3 国内外の薬物密売組織の壊滅、大麻をはじめとする薬物の乱用者に対する取締りの徹底及び多様化する乱用薬物等に対する迅速な対応による薬物の流通阻止

- ＜薬物密売組織の弱体化・壊滅の推進＞
- 薬物専門の捜査・情報分析・鑑定等体制強化
 - 合同捜査・共同摘発の推進

- ＜巧妙化する犯罪手口への対応強化と徹底した取締り＞
- サイバー空間を利用した薬物密売事犯への対応強化
 - 大麻乱用期の早期沈静化に向けた徹底した取締り

- ＜新たに出現する未規制物質に対する速やかな規制＞
- 未規制物質や大麻濃縮物等の新たな規制薬物への対応
 - 未規制物質等の迅速な指定の推進

目標4 水際対策の徹底による薬物の密輸入阻止

- ＜密輸手口の分析と情報共有等を通じた水際取締り体制の強化＞
- 関係機関や事件等を通じた情報収集の推進
 - 合同取締訓練実施による取締り体制の連携・能力向上

- ＜大麻、大麻製品等の密輸事犯の対応強化＞
- コントロールド・デリバリー捜査の積極的な活用
 - 関係機関による捜査手法の共有及び連携強化

- ＜国際的な人の往来増加への対応としての水際対策＞
- ウェブサイト等を活用した規制薬物情報の広報・啓発強化
 - 国際会議・在外機関等を通じた広報・啓発の実施

目標5 国際社会の一員としての国際連携・協力を通じた薬物乱用防止

- ＜各国・地域間の違法薬物密輸・取引情報等の収集及び体制の強化＞
- 薬物乱用対策に係る情報集約体制の強化
 - 国際機関等との情報共有体制の強化

- ＜我が国の薬物乱用政策の積極的な発信＞
- 国際的な理解獲得のための積極的な発信
 - 国連麻薬委員会等への参加を通じた諸外国との連携

- ＜海外関係機関への技術支援等を通じた連携強化＞
- 薬物仕出国等に対する技術支援等を通じた連携強化
 - 薬物仕出国等への職員派遣を通じた国際的な連携強化

※項目は主なものを記載

(厚生労働省公表資料)

薬物事犯データ

■「令和4年における組織犯罪の情勢 第2章：薬物情勢」(2023年4月警察庁公表資料)

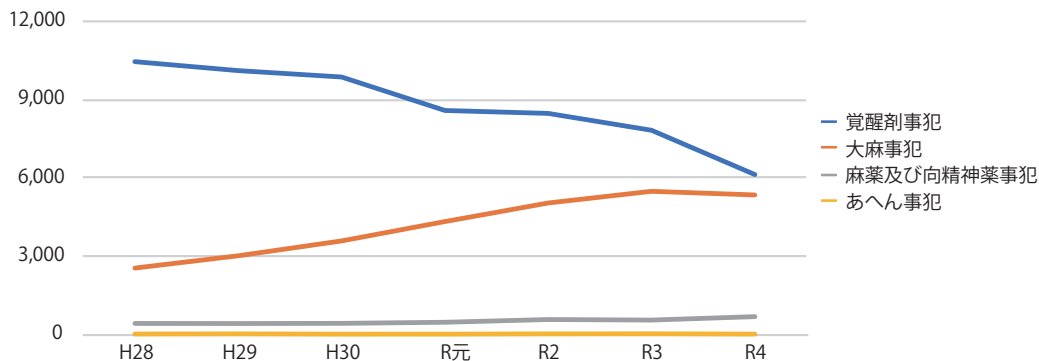
■検挙人員

薬物事犯の検挙人員は、近年横ばいが続く中、12,142人と前年より減少した。このうち、覚醒剤事犯は6,124人と前年より大幅に減少し、ピークであった平成9年の19,722人から長期的に減少傾向にある。大麻事犯は平成26年以降増加が続いていたが、5,342人と過去最多であった前年を下回った。

●薬物事犯別検挙人員の推移

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
覚醒剤事犯	10,457	10,113	9,868	8,584	8,471	7,824	6,124
大麻事犯	2,536	3,008	3,578	4,321	5,034	5,482	5,342
麻薬及び向精神薬事犯	412	409	415	457	562	541	673
あへん事犯	6	12	1	2	12	15	3
検挙人員合計	13,411	13,542	13,862	13,364	14,079	13,862	12,142

図 薬物事犯別検挙人員の推移



●年齢別大麻事犯年齢別検挙人員の推移

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
50歳以上	113	152	157	192	133	174	184
構成比率(%)	4.5	5.1	4.4	4.4	2.6	3.2	3.4
40～49歳	326	347	370	502	459	507	462
構成比率(%)	12.9	11.5	10.3	11.6	9.1	9.2	8.6
30～39歳	899	1,038	1,101	1,068	1,015	984	931
構成比率(%)	35.4	34.5	30.8	24.7	20.2	17.9	17.4
20～29歳	988	1,174	1,521	1,950	2,540	2,823	2,853
構成比率(%)	39.0	39.0	42.5	45.1	50.5	51.5	53.4
20歳未満	210	297	429	609	887	994	912
構成比率(%)	8.3	9.9	12	14.1	17.6	18.1	17.1
うち中学生	2	2	7	6	8	8	11
うち高校生	32	53	74	109	159	186	150
(再掲)大学生	40	55	100	132	219	232	160
検挙人員合計	2,536	3,008	3,578	4,321	5,034	5,482	5,342

●大麻事犯20歳未満の検挙人員推移

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
検挙人員	210	297	429	609	887	994	912
年齢別内訳							
19歳	102	129	185	294	430	463	441
18歳	64	84	128	164	238	288	225
17歳	32	49	68	97	136	158	148
16歳	9	28	26	42	65	64	71
15歳	2	6	18	11	15	17	22
14歳	1	1	4	1	3	4	5

●大麻栽培事犯の検挙状況推移

	H30	R元	R2	R3	R4
検挙件数	175	172	257	244	217
検挙人員	152	164	232	230	225
暴力団構成員等	25	42	46	48	41

■営利目的事犯の増加・暴力団や外国人の関与

営利目的の検挙者は外国人による事犯が増加した。相変わらず営利犯での覚醒剤検挙人員の4割以上が暴力団構成員だった。

●薬物事犯別営利犯検挙人員の推移

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
覚醒剤事犯	586	535	682	490	455	450
暴力団構成員等	303	295	276	278	246	191
構成比率(%)	51.7	55.1	40.5	56.7	54.1	42.4
外国人	152	126	272	86	66	97
構成比率(%)	25.9	23.6	39.9	17.6	14.5	21.6
大麻事犯	193	212	305	342	426	436
暴力団構成員等	87	79	99	83	104	105
構成比率(%)	45.1	37.3	32.5	24.3	24.4	24.1
外国人	35	12	31	28	50	40
構成比率(%)	18.1	5.7	10.2	8.2	11.7	9.2
麻薬及び向精神薬事犯	24	27	54	68	93	142
あへん事犯					1	0
合計	803	774	1,041	900	975	1,028

■押収量

押収量については、覚醒剤289kg、乾燥大麻289.6kgといずれも前年より大きく減少した一方、大麻濃縮物が74kgと大幅に増加した。

●薬物種類別押収量推移

		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
覚醒剤	(kg)	1,495.4	1,118.1	1,138.6	2,293.1	437.2	688.8	289.0
	(錠)	138	5	261	64	5	2,952	1,533
乾燥大麻	(kg)	133.1	176.3	280.4	350.2	265.1	329.7	289.6
大麻樹脂	(kg)	0.9	20.7	2.9	12.8	3.4	2.1	5.6
大麻草	(本)	13,660	17,324	4,456	8,074	9,893	7,301	7,563
	(kg)	42.3	67.5	23	33.2	37.9	17.8	11.2
大麻濃縮物	(kg)						22.2	74.0
合成麻薬	(錠)	5,021	3,181	12,303	73,935	90,322	54,204	74,824
MDMA	(錠)	5,019	3,109	12,274	73,874	90,218	54,192	74,717
コカイン	(kg)	18.3	9.6	42	34.9	23.4	10	41.8
ヘロイン	(kg)	0	70.3	0	0	14.8	0	0
あへん	(kg)	0.7	0	0	0	0	4.3	0

●覚醒剤事犯の再犯者率推移

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
検挙人員	10,457	10,113	9,868	8,584	8,471	7,824	6,124
再犯者数	6,804	6,647	6,521	5,687	5,880	5,272	4,188
再犯者率(%)	65.1	65.7	66.1	66.3	69.4	67.4	68.4

●大麻事犯初犯率推移

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
検挙人員	2,536	3,008	3,578	4,321	5,034	5,482	5,342
初犯者数	1,962	2,294	2,741	3,355	3,974	4,282	4,054
初犯者率(%)	77.4	76.3	76.6	77.6	78.9	78.1	75.9

☆対策

大麻事犯について、若年層による乱用防止を目的として、ネット上での違法情報・有害情報の排除や広報啓発活動を推進する。